

Trans-Sagami Yacht Race 2016・石廊崎レース

【レース参加にあたってのご注意】

1. IRC クラス、ORC クラス共に乗員重量制限があります

石廊崎レース、Trans-Sagami Yacht Race 共に、IRC クラスも ORC クラスも各クラスルールのデフォルトに従って、乗員の重量制限があります。

IRC クラスは、レーティング証書記載のクルーナンバーx85kgが上限となります（IRC クラス規則 22.4 参照）。ORC クラスは、レーティング証書記載のクルーウエイトが上限となります。

参加艇はクルー重量に限らず、他の項目も各クラスのクラスルールを遵守する義務がありますので、参加にあたっては今一度各クラスルールを確認ください。

IRC に関して <http://jsafirc.com>

ORC に関して <http://jsaforc.org>

2. 石廊崎レース IRC クラス参加艇は搭載スピナー枚数に注意！ [IRC クラスのみ]

IRC クラス参加艇は、Trans-Sagami Yacht Race にて、クラスルールに従ってスピネーカーはレーティング証書記載数に1枚追加搭載可能です（日本セーリング連盟 IRC 規程 1）。しかし、石廊崎レースでは追加搭載は不可で、スピネーカーはレーティング証書記載数のみです。

IRC クラスにて両レースに参加する艇で、Trans-Sagami Yacht Race 用に追加1枚のスピネーカーを持参してきている艇は、石廊崎レースにおいて追加搭載しないよう（陸上に置いておくなど）注意ください。

3. JSAF 外洋特別規定

石廊崎レース、Trans-Sagami Yacht Race には、日本セーリング連盟が定める JSAF 外洋特別規定が採用されています。

石廊崎レースには「カテゴリー4」、Trans-Sagami Yacht Race には「カテゴリー3」が適用カテゴリーとなっています。参加艇は各レースのカテゴリーに適合させる必要があります。

なお、石廊崎レースと Trans-Sagami Yacht Race は異なるレースですので、両レースに参加される方はそれぞれのレースに必要な申告書をそれぞれ提出する必要があります。

JSAF 外洋特別規定 2016-2017 に関しては下記ウェブサイト参照↓

<http://www.jsaf-anzen.jp/1-1.html>

3-1. 石廊崎レースの通信設備

JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリ-4 の規定に従い、下記の VHF トランシーバーが必要となります。

①. ハンディタイプの VHF トランシーバー【詳細は規定番号 3.29.05 参照】

2. Trans-Sagami Yacht Race の通信設備

JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリ-3 の規定に従い、下記 2 種類のトランシーバーが必要となります。

①. ハンディタイプの VHF トランシーバー【詳細は規定番号 3.29.05 参照】

下記②のトランシーバーが VHF でも、搭載が必要です。

②. 船舶用トランシーバー【詳細は規定番号 3.29.01 参照】

船舶用トランシーバーは現時点でいくつかの選択肢があります。例えば下記、

a. 最低出力 25 ワットでマストトップアンテナを持つ VHF トランシーバー

仕様詳細は【規定番号 3.29.02】に記載されています。なお、25 ワットの VHF トランシーバーを装備しても、①. ハンディタイプ VHF トランシーバーは別途必要となります。

b. 衛星電話（イリジウム、船舶電話、サットコムなど）。一般携帯電話は不可。

衛星電話は免許不要です。イリジウム衛星携帯電話が比較的入手が容易で購入以外にレンタルも可能です。

【注】

- * 1. VHF トランシーバーを搭載するにあたり、海上無線技士の免許取得と艇の開局手続きも必要となります。またマストトップアンテナなどの設備の工事などが必要な場合もありますので、早めに準備ください。
- * 2. 上記トランシーバー以外に外洋規定に定められた通信設備も必要となります。また、レース公示 4. 参加資格 e) の通り携帯電話の搭載も必要です。

以上